

Rotary
District2690



Governor's Monthly Communication

ガバナー月信
Rotary International District 2690 【2019-20】



2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2019-20年度地区ガバナー
古瀬 俱之

Vol. 2
2019.8.1



Contents

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 2 …… 地区ガバナーメッセージ | 7 …… ガバナー年度を迎えて |
| 3 …… 「会員増強・新クラブ結成推進月間」に思うこと | 8 …… 地区大会のご案内 |
| 4 …… 地区担当委員長挨拶 | |

ハンブルグ国際大会に出席して



地区ガバナー
古瀬 倶之



写真1

6月1日から5日まで上記大会がハンブルグメッセ（写真1）で開催されました。最高気温は20～29度、天候は晴天、曇り、雨と様々でした。RIによると今回の大会は、110回の節目の大会で、登録者数は約25,000人、うち日本人は約2,300人だそうです。

初日は開会式でした。私はもの珍しさも手伝い、今回初めて試みられたインスピレーションラウンジを予約しました。ラウンジ（1,000人収容）の中心に大きなスクリーンが4面設置され、すばらしい音響とともに冷房の効いた、自由に飲食できる環境下でゆっくり見ることができました。国旗を掲げて入場するのも（写真2）、そのあとの様々なパフォーマンスもほとんど40歳以下の若い人でした。2018-19年度バリー・ラシンRI会長の地元バハマから若い大勢の歌手、ダンサーが舞台上がり、迫力あるすばらしい歌と踊りで会場を盛り上げました。また、まっ白なキャンバスに、歌いながら、踊りながら絵を描くパフォーマンスがあり、前衛絵画？と思いながら見ていました。出来上がった絵はワクチンを投与されている少女でした。最後まで、上下逆さに描いていたので余計理解しにくい絵でした。左下の「END POLIO NOW」はバリー・ラシンRI会長が描かれました（写真3）。

2日に当地区の信任状を「友愛の家」にある受付に持っていきました。スムーズにいき、ほっとしました。



写真3



写真2

本会議は毎日、午前10時～12時まで開かれ、2日は「機会をとらえよう」、3日は「リーダーシップと高潔性」、4日は「奉仕」、5日は「多様性と親睦」をテーマに、その道のエキスパートの方の講演がありました。なお、4日の本会議の最後に、当地区がDDFから10万ドルをポリオ基金に寄付したことが高額トップ5に入り、「ありがとう」の言葉とともに当地区の名前がアナウンスされました。

分科会は毎日午後1時～5時30分まで、1日5～12の会場に分かれて行われました。テーマは「若いリーダーの参加促進」、「リーダーの育成」、「ロータリーの推進」、「奉仕とプロジェクト」、「会員基盤の強化」で、経験豊富なロータリアン、ローターアクター、ロータリー学友、ゲストスピーカーの講演がありました。質問が出て面白い分科会でした。

大会を通じて少し寂しかったことは、3日以降に日本人ロータリアンに出会うことがほとんど無かったことです。

来年のホノルル国際大会は、6月7日が開会式です。皆さまには今から計画を立てていただき、ホノルルでお会いしましょう。その時にはお互いに、気軽に「ヤァー」と声を掛け合いましょう。

「ガバナー日記」を
更新中!

国際ロータリー 古瀬



で検索

ぜひ、ご覧ください!



「会員増強・新クラブ結成推進月間」 に思うこと

～何故、会員増強が必要か？～

地区ガバナーエレクト 菊池 捷男

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

何故、会員増強（ロータリークラブ会員数を増やすこと）が必要か？

私は、ロータリークラブとは、大廈の材（優れた人材）の淵藪（集まる場所）だと思っています。

そういう人材が集まる場所では、互いが互いを磨き合い、人間として職業人として、大きく成長していくことができるとしています。

奉仕というのも、そのような人が集まるからこそ、自然に生まれてくるのではないかと思います。

貧困や病気や無教育の中で苦しむ人たちに、同情や憐憫の情を持つのは、人として自然の情ですが、人一人だけでは、そのような自然の情が直ちに奉仕に結びつくものではないでしょう。

しかし、そのような心を持った人が多数集まり、貧困等に苦しむ人たちに目が向くようになると、奉仕の心も燃え、奉仕の行動に駆り立てられることになると思うのです。

大廈の材が自然に集まる、ロータリークラブが存在する意義は、そこにあるように思います。

ですから、会員増強は必要なのです。

会員数が増えれば、さらに互いが磨き合い、人間の成長を加速させ、視線は高く、視野は広く、思慮は深くなり、奉仕に向かう熱意も倍加するのではないかと考えるからです。

国際ロータリーが、ポリオの絶滅を、奉仕の中核に置いているのも、多くのロータリアンがつくる組織だからこそ、可能になるのだと思います。

国連やビルゲイツ財団が、国際ロータリーの奉仕に深い理解を示し、支援を惜しまないのも、同じ理由だと思います。

それだからこそ、ロータリークラブに、大廈の材が雲集するのだと思います。

下記に書いた数字は、東京八王子西ロータリークラブの会員増強の記録です。

私たち国際ロータリー第2690地区の各クラブも、会員増強に励みましょう。

記

東京八王子西ロータリークラブの事例

年度	年度初	増強数	退会数	年度末
2012-13年	74名	10名	1名	83名
2015-16年	83名	22名	2名	103名(50周年)
2017-18年	102名	14名	5名	111名
2018-19年	109名	4名	4名	109名

(2019年4月8日 国際ロータリー第1・2・3ゾーン会員基盤向上セミナー資料より)

地区担当委員長挨拶

地区会計長・地区資金委員会委員長



廣原 俊平

日本に限らず世界の昨今の経済は、不透明であるだけでなく格差も生じています。

そんな中、事業やロータリー活動に奔走されている皆様からお預かりした大切な資金は、効率化を念頭に置き、適正に会計処理をしてゆく所存であります。また一方、収入は会員の増強が1番であることは言うまでもありません。会員の皆様のご理解とご協力も仰ぎたいと思います。

「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマを実践するのは各クラブの皆様であり、地区であります。そして、その下支えをするのが会計だと考えます。会計長として一生懸命させて頂く所存ですので、皆様方にもご協力頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

地区会員増強・会員選考・職業分類委員会委員長



石橋 慶一

2019-20年度地区会員増強・会員選考・職業分類委員会の委員長の石橋慶一です。

会員増強は各クラブにとって最重要課題であると思いますが、取り組み方、手法は一つだけでないと考えます。女性会員若手会員の増強・地域の事情・クラブの歴史等それぞれの状況に応じた、目標設定と増強手法が必要となると考えます。2690地区

の委員長として皆様のクラブに合った会員増強を見つけていただくための情報提供ができればと思っています。ロータリーの活動を仲間で楽しめるようなクラブにするためにも皆様、一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

地区雑誌・広報委員会委員長



児玉 治

我が委員会は、ロータリーを一般市民に広め、ロータリーのプログラムへの理解、評価、支援を推進する事が大きな使命であります。そのためにロータリーの友は国際ロータリーの方針や各地のロータリーのタイムリーな活動情報が満載であり、ロータリアンが目を通し易いように工夫されています。また雑誌に投稿することは、ロータリアンにとってよき交流の場となります。

ロータリーの奉仕活動を広く世間に知っていただき、公共イメージを向上させることは私どもの使命であります。8月4日のクラブ雑誌・広報委員長会議ではロータリーイメージの向上についての講演を行います。講師に香川県の坂出東ロータリークラブの前田直俊パストガバナーをお迎えします。ご期待ください。

地区職業奉仕委員会委員長



阿川 嘉明

職業奉仕という考え方は、日常あまり使わないロータリークラブだけの独特の考え方です。バリーラシン元国際ロータリー会長は「職業奉仕を定義するのは難しいが、説明するのは簡単です。端的に言えば、ロータリーと職業が重なり合うところ、仕事を通じてロータリーの理念を実践することが職業奉仕です。」と言っておられます。地区の会員の皆様はどのようにお考えでしょうか。

職業奉仕への理解が少しでも深まりますよう、ご理解ご協力よろしくお願ひ致します。

地区社会奉仕・RCC委員会委員長



山口 孝之

地区内クラブの社会奉仕プロジェクトに対する援助を行い、有益な情報が提供できるよう努めます。各クラブが有意義な社会奉仕活動を実施できるよう、会合や行事の際に相互の情報交換ができるよう援助します。また、ロータリーの理念に賛同するロータリアン以外の人びとが社会奉仕を行う、地域社会共同隊(RCC)の結成の支援も試みたいと思います。優れた社会奉仕プロジェクトについては、ガバナー月信や地区Webサイトに掲載することで地区内の全ての会員への周知を図ります。各クラブ、各会員が積極的に社会奉仕活動に取り組んでいただくのを期待しています。

地区国際奉仕委員会委員長



日野 幹雄

国際奉仕はクラブと会員両方の責務です。国際奉仕の具体的な行動としては、他国の人々やその文化、慣習、問題等を知ることであり、海外旅行や国際大会出席による個人交流、読書や文通、さらに、他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトに協力することです。

地区国際奉仕委員会には、定期的にプロジェクトや補助金活動を向上させるためのリソース、活動に役立つヒントなどの情報が、国際ロータリー奉仕・参加担当部から送られてきます。各クラブにおかれましては、これらの情報も活用していただき、タイムリーな国際奉仕プロジェクトを立案・推進していただきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

地区担当委員長挨拶

地区米山記念奨学委員会委員長



小林 和夫

第2690地区米山記念奨学会委員会は、2018-19年度に選出した22名と継続3名、合計25名の奨学生の窓口となっています。今年度も同程度の選出が予想されます。米山記念奨学事業の特長は、世話クラブとカウンセラー制度です。奨学生には奨学金を支給するだけでなく、経験豊かなロータリアンが一对一でカウンセラーとケアを務めます。また所属する世話クラブ全体との交流を通じて、奨学生の母国と日本との懸け橋となり、国際親善に尽くす人材を育てることが主目的です。懸け橋は片方だけが努力してもできません。我々ロータリークラブ会員、そして奨学生の皆様はそのために精一杯の努力をしていただきたいと思います。会員の皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解の上、一層のご協力を今年度もお願い致します。

地区青少年交換委員会委員長



鳥屋尾 征幹

第2690地区青少年交換委員長を仰せつかりました鳥屋尾と申します。

この青少年交換は国際ロータリーが設ける常設プログラムの一つとして、1年間アメリカ、カナダの高校生を迎え入れ、第2690地区内の高校生を交換留学生として選考し、そして送り出すという活動を行っております。

今年度もアメリカから1名、当地区より1名の交換留学が決定しております。

これから留学生受け入れを担当していただきますクラブ会長、担当委員、クラブの皆様には大変お世話になります。私も諸先輩方からご指導をいただきながら、交換留学生たちのために一生懸命努めてまいります。

今後とも皆様方の温かいご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

地区青少年奉仕委員会委員長



伊藤 浩

地区青少年奉仕委員会委員長を務めさせていただき伊藤です。

私はロータリークラブに入会して6年目で、経験、知識、見識いずれもロータリー活動に対して不足な立場ではありますが、今回委員長を務めるにあたり、研鑽を重ねながら手探りで努めていく所存です。

少子高齢化が現代の社会問題になっておりますが、現在の若者の意欲や才能を伸ばし、未来を担える人材の育成を行うことは、とても大切なことだと考えます。そのために、青少年奉仕委員会としてできることを少しでも行いたいと思います。皆様のご理解ご協力をお願い致します。

地区インターアクト委員会委員長



山本 祥二

この度、地区インターアクト委員長を仰せつかりました出雲南RCの山本と申します。

インターアクトクラブは、ロータリークラブにより提唱された12歳から18歳までの青少年または中高生のための奉仕クラブで、楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加する機会を青少年に与えるものです。

今年度、当地区では新たに倉敷東RCの提唱により倉敷高等学校インターアクトクラブが加わり、18のインターアクトクラブが活動をしています。

活動を通してインターアクターの皆さんは、主に下記の四つの事柄の重要性を学びます。

①指導力と優れた人格の育成。

②他者を尊敬し、進んで助ける態度。

③各自の責任を果たすことや、一生懸命努力することの価値の理解。

④国際理解と親善の推進。

今年7月20日～21日に、島根県青少年の家サンレイクにて地区大会を開催いたします。各地のインターアクターが集まり、体験や交流を深めることにより、個々の成長への一助となるよう願っております。インターアクト発展のため、ロータリアン皆様のご支援ご指導を宜しくお願い申し上げます。

地区ローターアクト委員会委員長



内田 政智

2019-2020年度地区ローターアクト委員長を務めさせていただき出雲中央ロータリークラブの内田政智と申します。1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

30歳までの次代のロータリークラブを担うであろう青年の活動の場であるローターアクトクラブは、近年、会員数の減少という大きな問題に直面しております。この難局をロータリークラブの既成概念に囚われることなく、若者が若者らしく活動出来る様、しっかりとサポートする所存でございます。2690地区の会員にはお力添えを賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。

地区学友委員会委員長



岡 英司

本年度地区学友委員会委員長を拝命いたしました岡英司です。3月には副委員長として岡山で実施されましたロータリー財団補助金奨学生選考会に出席させていただきました。前年度、3名の大変優秀な申請者のプレゼンテーションに触れ、それぞれの分野で地域や世界に貢献をするという高い志と熱意に感銘を受けました。ロータリー財団により、彼らの勉学をサポートすることで、生涯にわたりロータリーの学友として活躍されることを念じます。今年度のスタートにあたり、各クラブから奨学生の候補となる人材をご推薦していただくことをお願いいたします。

地区担当委員長挨拶

地区補助金小委員会委員長



伊藤 直子

今年度地区補助金小委員会委員長を務めさせて頂く出雲中央RCの伊藤直子でございます。

今年度は、地区補助金事業への申請を、29件頂きました。ありがとうございました。いよいよこれから申請頂いた事業が実施へと向かうこととなります。

地域の皆様と共に喜びを分かち合い、クラブにとって実り多き事業となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

地区補助金事業、あるいはグローバル補助金事業は、ご存知のように、我々のRIへの寄付を原資としており、我々が、自らの寄付を、自らの手で奉仕活動に生かす最大のチャンスです。

今年度の事業を全力で実施して頂くとともに、次年度の事業に向けてのご検討も、是非お願い致します。

地区補助金小委員会は、RIと、2690地区のルールをふまえ、よりよい奉仕事業の申請とスムーズな実施と報告に向けて、全力でサポートさせて頂きます。よろしくお願い申し上げます。

地区ロータリー財団資金推進小委員会委員長



布野 規子

今年度、資金推進小委員会の委員長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

資金推進小委員会は地区における財団への寄付の増進と寄付者の表彰・認証を管理致します。

古瀬地区ガバナーの地区目標の中で当委員会に関わる目標は、重点目標にあります「ロータリー財団への支援(年次寄付・ポリオプラスへの寄付)」「米山奨学会への支援(普通寄付・特別寄付)」「ロータリーカード普及への協力」等になります。

地区目標達成のため、各クラブの会員の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区ポリオプラス小委員会委員長



永田 数子

今年度地区ポリオプラス小委員会委員長を拝命致しました出雲中央RCの永田数子と申します。

ロータリーは全世界でポリオを撲滅するために1988年以来、世界保健機関(WHO)、米国疾病対策予防センター(CDC)、国連児童基金(UNICEF)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団の主要パートナーとともに世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)に取り組んで来ました。その取り組みにより、この30年間で発症数が99.9%減少という大きな成果を挙げています。

人類を苦しめてきたポリオ。「ポリオのない世界」の実現はもう目の前に来ています。その実現のためにロータリーに寄せられる期待も大きいと感じます。その期待に応えるためには会員の皆様のお力が必要です。ポリオ撲滅の認識をより一層高めていただき、ご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

地区職業研修チーム小委員会委員長



石橋 尚子

今年度、委員長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

当小委員会としましては、各地区の会員の皆様が職業奉仕の理念のもと、各々の分野での活動が活発に、そしてスムーズに達成できますよう努めてまいりたいと思います。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

地区ロータリー財団資金管理小委員会委員長



伊藤 浩

地区財団資金管理小委員会委員長を務めさせていただきます伊藤です。

地区やクラブの活動にロータリー財団の資金が地区補助金として活用されていますが、この地区補助金はロータリー財団に申請し、地区に一括して補助金が支給された後、地区がクラブに資金を支払います。この補助金は地区やクラブのプロジェクトや活動に活用されています。

当地区財団資金管理小委員会は、地区補助金が適正に使用されているか監督することを課せられた委員会です。地区補助金小委員会として責務を果たしていきたいと思っております。

例会場の変更のお知らせ

- ・津山ロータリークラブ
- ・津山西ロータリークラブ
- ・津山中央ロータリークラブ

旧・例会場＝津山国際ホテル



新・例会場 ザ・シロヤマテラス津山別邸

住所 〒708-0022 岡山県津山市山下 30-1

TEL (0868) 24-2111 FAX (0868) 23-1122

お詫び

ガバナー月信1号に掲載しました、ホームページアドレスに誤りがありました。

正しくは

<https://www.rid-2690.com>

となります。

ガバナー年度を迎えて



国際ロータリー第 2690 地区
地区代表幹事 岸 篤彦

2019-20年度（ガバナー年度）が、この7月1日からスタートしました。

ガバナー年度に向けての数々の取り組みをパストガバナーの皆様、また、2690地区の66クラブの皆様のご協力を頂く中で、執り行うことができました。

取り組みのスタートは、12月9日の古瀬俱之ガバナーエレクトの国際協議会出席のための壮行会でした。古瀬ガバナーエレクトが、国際協議会を終え帰国後の2月10日には、地区チーム研修セミナー、3月2日、3日には、クラブ会長エレクト研修セミナーがあり、第1日目では、古瀬ガバナーエレクトの「基調講演」、次期地区研修リーダーの松本祐二パストガバナーから「クラブ会長に求められるもの」、元国際ロータリー理事の渡辺好政パストガバナーから「リーダーシップ」、国際ロータリー研修リーダーの佐藤芳郎パストガバナーから「魅力あるロータリーとは」、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事の森田昭一郎パストガバナーから「ハウツー米山記念奨学事業」、直前ガバナーの池上正パストガバナーから「危機管理について」という、それぞれのテーマで示唆にとんだ講演頂きました。

2日目は、国際ロータリー第2660地区ガバナーエレクトの四宮孝郎様から「なぜ長期戦略は必要か」というテーマでご講演頂いた後、5つのグループに分かれ「クラブ長期戦略計画の実際」というテーマでグループディスカッションして頂きました。

2日間の研修セミナーを終えられた会長エレクトの皆様は、イメージされていた会長年度の活動をより具体的なものとされることができたのではないかと思います。（※役職名：講演当時）

4月14日は、地区研修・協議会があり、会長、幹事、職員奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の各部門毎に協議会をもって頂きました。

会長、幹事部門では、会長、幹事の役割、会員増強、退会の防止について、また、職員奉仕部門では、各クラブの職業奉仕活動の実践、職業奉仕活動はクラブの活性化につながっているのか、次年度の活動計画について、社会奉仕部門では、各クラブでの奉仕活動の実践、地区補助金等を活用された活動、次年度の活動計画、クラブの公共イメージ向上にむけての計画などについて、国際奉仕部門では、奉仕活動の実践、次年度の活動計画、海外との交流活動、米山記念奨学会への寄付の取り組みについて、青少年奉仕部門では、奉仕活動の実践、次年度の活動計画、インターアクト、ローターアクトへの取り組みなどについて、活発な意見交換が行われました。5月12日には、次期地区会員増強・ロータリー財団合同セミナーがあり、国際ロータリー第2750地区パストガバナーの市川伊三夫様から「激動する世界を前にロータリーは如何にあるべきか」という演題で、基調講演頂きました。地区会員増強セミナーでは、国際ロータリー第2570地区パストガバナー坂本元彦様から「増強を思う」という演題で講演を頂きました。

地区ロータリー財団セミナーでは、ロータリー平和センター・ホストエリアアドバイザーの山崎敬生様から「ロータリー平和センター世界の平和に貢献する」という演題で講演頂きました。

また、規定審議会地区代表議員の伊藤文利パストガバナーからは、規定審議会での審議結果の報告がありました。

2019-20年度は、マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長が示された「ロータリーは世界をつなぐ」という、国際ロータリーのテーマ、また、古瀬俱之ガバナーからの「I'm a Rotarian!」という地区スローガンの下、2690地区内の11グループのガバナー補佐の皆様、また、66クラブの会長、幹事、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の奉仕プロジェクトに関わって頂く皆様、さらには、会員増強、ロータリー財団のプロジェクトに関わって頂く皆様には、今後様々なお願いを申し上げるかと思いますが、一層のお力添えを頂きます様、お願い申し上げます、ガバナー年度を迎えてのご挨拶と致します。



2019-20年度
国際ロータリー第2690地区
(鳥取・島根・岡山)

地区大会



国際ロータリー第2690地区スローガン 「I'm a Rotarian!」

2019年 10月19日(土)・20日(日)

10月20日(日)

登録料/会 員12,000円 ご家族 8,000円
事務局 5,000円

本会議

■時間/9:30~16:00 (受付/8:30~)

■会場/出雲市民会館



(会 場)出雲市民会館
(アクセス)「出雲市」駅から徒歩15分

記念講演 午後

講師:東国原 英夫氏

演題「社会を生き抜く決断力」

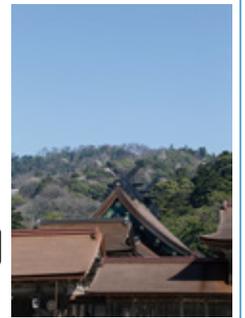


エクスカーション

■時間/10:00~13:00

■会場/出雲大社
(正式参拝)

登録料/3,000円



懇親会 ■会場/出雲ドーム ■時間/17:00~



10月13日(日)

記念テニス大会

■時間/10:00~

■会場/岡山県総合グラウンド
(南テニスコート)

主管/オール岡山ロータリアンテニスクラブ

登録料/5,000円
懇親会費/5,000円



10月18日(金)

記念ゴルフ大会

■時間/8:00スタート

■会場/いづも大社カントリークラブ

登録料/5,000円
プレーフィ/別途いただきます

10月19日(土)

地区指導者育成 セミナー

■時間/13:30~15:15

■会場/出雲ロイヤルホテル

基調講演

講師:松本 祐二氏
第2690地区バスターガバナー
地区研修リーダー

記念講演

講師:アブデルアール・アハメド氏
よねやま親善大使

登録料/6,000円

10月19日(土)

ガバナー補佐・会長 幹事会

■時間/15:30~16:30

■会場/出雲ロイヤルホテル

RI会長代理歓迎 晚餐会

■時間/18:00~20:00

■会場/出雲ロイヤルホテル

登録料/15,000円